

# 第7回「日本薬局管理学会」年会

主催 特定非営利活動法人 日本薬局管理学会

後援 日本薬学会 日本医療薬学会 日本医療・病院管理学会 日本社会薬学会

日本薬剤師会 日本病院薬剤師会 東京都薬剤師会 日本薬剤師研修センター

日時:平成24年6月24日(日) 12:00～

場所:津田ホール(JR千駄ヶ谷駅前)

東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-18-24 TEL 03-3402-1851

●シンポジウム 12:15～14:45

座長 東京薬科大学 情報教育研究センター センター長 土橋 朗

## 薬物治療モニタリングと共同薬物治療管理

- 薬剤師に何ができるのか、何をしなければならないのか -

1. シンポジウム開催に当たって

東京薬科大学 情報教育研究センター センター長 土橋 朗

2. 薬局店頭における自己採血を伴う検査による薬物治療モニタリングに関する研究

北海道薬科大学 薬学部 社会薬学系 医薬情報解析学分野 准教授 岡崎 光洋

3. 共同薬物療法マネジメントシステムとして機能させ職能を発揮する!

社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院 薬剤科 土手 賢史

4. CDTMにおける法的問題点とその解釈

中外合同法律事務所 弁護士・薬剤師 赤羽根 秀宜

●時局講演 15:00～15:50

座長 北里大学 薬学部 臨床薬学研究・教育センター 保険薬局学 教授 吉山 友二

## 薬剤師の職能の向上と我が国の医療の発展のために

講師 厚生労働省 医薬食品局 総務課 課長補佐 中井 清人

●特別講演 16:00～17:20

座長 ナカジマ薬局 薬剤部 部長 北山 久乃

## 「地域医療連携」の心と技、そしてシステムについて考える

医療サービスとは、「健康上の問題を介して、生き続けている人に対して、何らかの支援をおこなうこと」と、定義することができます。様々な職種の医療従事者が、何らかの疾患を契機にして患者さんと出会い、「その人の人生にとって何が有益か?」という視点にたつて、検査・治療介入、生活支援のあり方について考え、誰が、どこで、どういう風な機能を分担することが、もっとも合理的で有効かを考える必要があります。そのために、どのような技術、能力が求められ、さらに、どのようなシステムで協働するべきか?について考えてみたいと思います。実は、これらのことが、私たちの人生を考えることと同じぐらい大切なこととなります。

講師 聖路加国際病院 がん診療特別顧問 蔦巢 賢一

同時開催 討論会 9:30～11:00

共同薬物治療管理(CDTM)は本当に薬局でできるのか?

- その疑問を皆で晴らしましょう! -

オーガナイザー 日本大学薬学部 実践薬学部門 教授 亀井 美和子

東京薬科大学 情報教育研究センター センター長 土橋 朗

特定非営利活動法人 日本薬局管理学会

〒104-0044 東京都中央区明石町 11-15

事務局:望星築地薬局 内 担当:原 和夫

TEL:03-3541-1193 FAX:03-3541-1974

E-mail:office@jas-pharm.com

詳細はホームページへ

<http://www.jas-pharm.com/>